

令和4年度

## 公民館事業評価

佐倉市立中央公民館	P. 1
佐倉市立和田公民館	P. 15
佐倉市立弥富公民館	P. 29
佐倉市立根郷公民館	P. 47
佐倉市立志津公民館	P. 69
佐倉市立臼井公民館	P. 91



事業名	家庭教育講座「窓ガラスお絵描きワークショップ・どうろあーとワークショップ」				
ジャンル	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育 <input type="checkbox"/> 青少年教育 <input type="checkbox"/> 成人教育 <input type="checkbox"/> 団体育成				
日程	窓ガラス：8/9（土）10：00～12：00 どうろあーと：8/22（月）10：00～12：00	講師	久本 綾 (アトリエティエラスールこども造形教室講師)	参加費	500円
対象者	佐倉市内の小学生とその保護者	参加者数(延べ)	窓ガラス：11組32名 どうろあーと：15組41名	募集方法	広報、チラシ、HP、SNS (Facebook・twitter)
趣旨	中央公民館の窓ガラス、道路（駐車場）をキャンパスにして親子で一緒に絵を描いてもらうことで、子供達の自由な感性を育むとともに、親子で一緒にものを創り出すことの楽しさを感じてもらおうことを趣旨に企画。夏休み期間中に実施したので、なかなか遠出できないコロナ禍の中、普段できないこと（窓ガラス、道路に絵を描く）をしてもらい、夏休みの思い出にしてもらうことを意図した。さらにできあがった作品をその後一定期間展示することで（どうろあーとは消えるまで、窓ガラスお絵描きは1か月間展示）、参加者のみでなく、来館者の方にも楽しんでもらうことも目的とした。				
内容	窓ガラス：中央公民館の1階玄関近くのロビーの窓ガラスをキャンパスにして、水で落とせるクレヨンを使って、森をテーマに自由に窓ガラスに絵を描いてもらう。完成した後は1か月間展示する。 どうろあーと：中央公民館玄関前の駐車場をキャンパスにして、チョークを使って、海をテーマに自由に描いてもらう。				
工夫	窓ガラス：屋内開催だったので、コロナ対策として描く範囲を事前に指定した。テーマである森のイメージがわくように木や葉っぱのオブジェを作成（佐倉東高校依頼）、森に関連した市内図書館所蔵本を展示した。絵を描く前に先生が森についてのお話しをし、参加者間で森のイメージを共有した。見学席をなくし、平台を設置したことで親子で一緒に描けるようにした。 どうろあーと：真夏の屋外での開催だったので、テントを設置、熱中症対策を行った。窓ガラス同様、テーマに関連する市内図書館所蔵本を展示、テーマである海のイメージを共有できるようにした。屋外だったので描く範囲は指定せず、参加者間で交流がとれるようにした。佐倉東高校美術部にもボランティア協力をお願いし、世代間交流を図った。				
成果	窓ガラス：絵を描く前に、森についてのイメージを参加者で話し合ったので、昨年より参加者間で一体感が生まれた。お子さんと同じくらい熱中している親御さんもいて、大人側、子供側のアンケートではどちらも「楽しかった」「少し楽しかった」を合わせると満足度100パーセントの結果となった。 どうろあーと：描く範囲を指定しなかった結果、参加者達の距離が縮まり、初対面の子供たちが友達になる場面が多々見受けられた。アンケートでも自由に大きくのびのびと、友達と協力して描けたことを満足する理由に多くあげていただき、参加者が交流する空間を作ることができたと思う。アンケートでも満足度は100%となった。				
課題	窓ガラス：どうろあーとワークショップと比較すると、描くスペースが予め決まっていたこともあり、参加者間の一体感はあったが、交流は少なかった。もう少し参加者間で交流できる仕掛けがあるといい。 どうろあーと：窓ガラスアートと異なり、あまり先生の話や聞きかたに勝手に始めてしまう子が多かった。今回はテーマが「海」だったので、イメージを共有せずとも自然と一つの作品となったが、テーマが複雑だとバラバラになり統一した作品ができない可能性もあるので、きちんとイメージを参加者間で共有する仕掛け、時間を作る必要がある。				

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	・公民館が行う必要があるか。 ・市民や利用者のニーズに合っているか。 ・目的や役割が薄れていないか。 ・事業の休止・廃止した場合の影響は大きいのか。
優先性	A	・事業の優先度は高いか。
公平性	A	・対象者に情報は流れているか。 ・受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	B	・期待通りの成果が得られているか。 ・さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 ・市民の満足度は高いか。
効率性	A	・事業の効率性はどうか。 ・事業運営に学習者が参画しているか。 ・他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	A：適切で成果が得られている。 B：課題あり、成果はある程度ある。 C：課題あり、成果があまりない。 D：成果が得られていない。
特記		

《凡例》

左向き矢印：A ← B ← C ← D ← 良くない

《判定例》
 

A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A

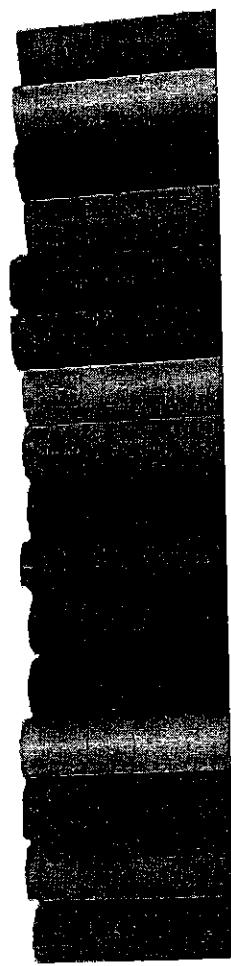
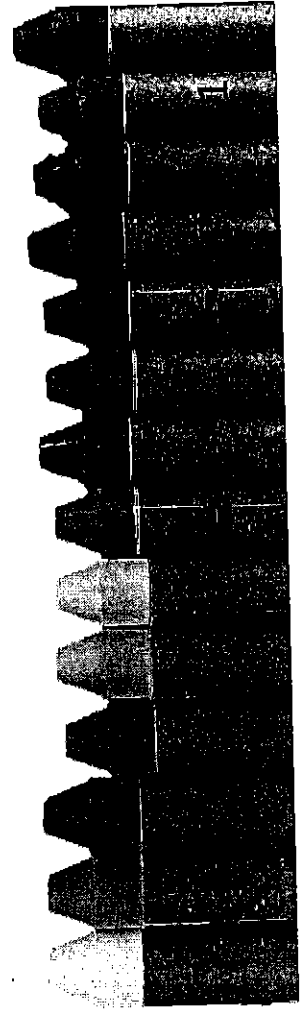
次年度展望	②	①：事業拡大 ④：目的達成により終了	②：現状規模で継続 ⑥：統合・改善・その他	③：事業縮小
-------	---	-----------------------	--------------------------	--------



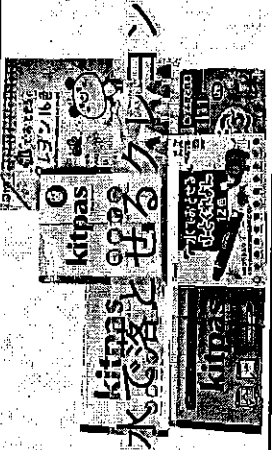
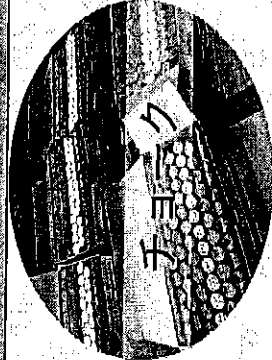

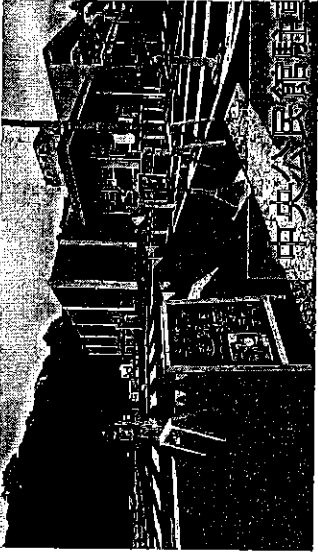

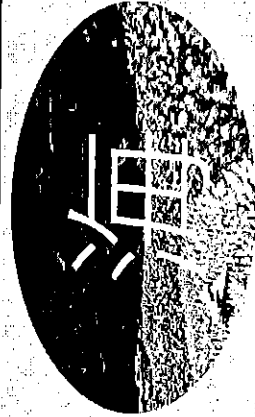
# 家庭教育事業

窓ガラスお絵描きワークショップ  
どうらあ〜とワークショップ

佐倉市立中央公民館



窓ガラスお絵描きワークショップ・どうろあーとワークシヨップとは？

	窓ガラスお絵描きWS	どうろあーとWS
使う画材	 <p>kitpas 水落とせるクレンザー</p>	 <p>キヨク</p>
場所	 <p>中央公民館1階 窓ガラス11面</p> <p>中央公民館駐車場</p>	 <p>中央公民館駐車場</p>
テーマ	 <p>森</p>	 <p>海</p>

関連性



## 趣旨・目的

① 普段描けない場所に自由に絵を描く

② 親子で一緒に何かを作る

③ コロナ禍でなかなか遠出できない中、  
非日常な体験

④ 参加者が同じテーマで一つの作品に  
取り組む

⑤ 一定期間の作品の展示

子供たちの自由な感性を育む

親子のコミュニケーションを促進

夏休みの思い出

参加者の一体感

来館者も楽しむ

## 窓ガラスお絵描きワークショップ実施内容

事業名：「公民館を森に塗り替えちゃおう！～窓ガラスお絵描きワークショップ～」

日時：令和4年8月9日（火）10：00～12：00

会場：中央公民館1階ロビー

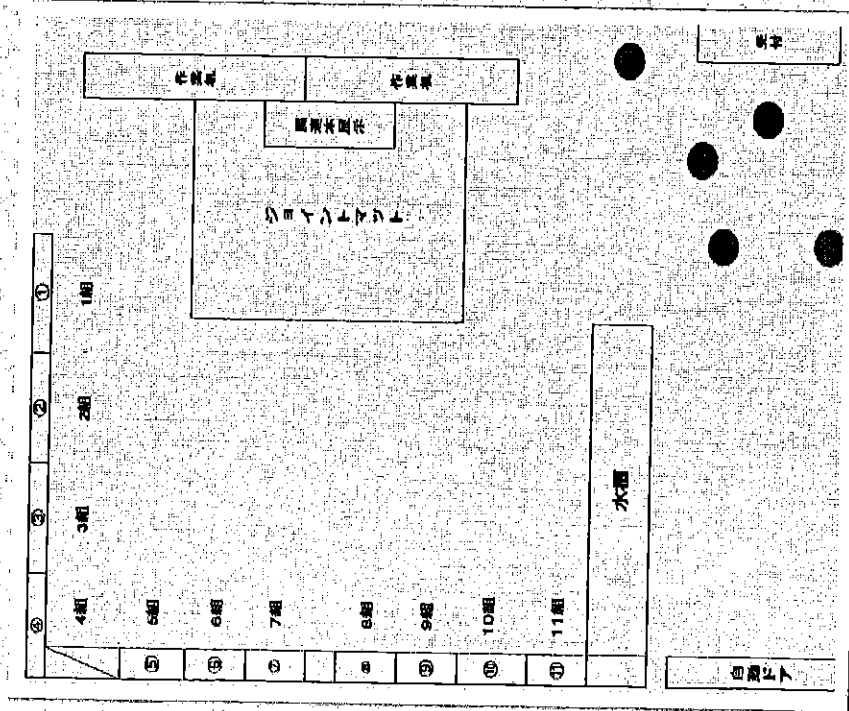
講師：久本 綾（アトリエエラスールこども造形教室講師）

参加費：500円（材料代）

定員：11組（1組3人まで）

対象：佐倉市内在住の小学生とその保護者

その他：ロビーの天井に葉っぱのガーランド（佐倉東高校製作）設置  
完成した窓ガラスアート作品は1カ月間展示  
市内図書館から関連本借用



会場図



## ろーどあーとワークショップ実施内容

事業名：「道路を海にしちやおう！  
～どろあ〜とワークショップ～」

日時： 令和4年8月22日（月・休館日）  
10：00～12：00

会場： 中央公民館玄関前駐車場

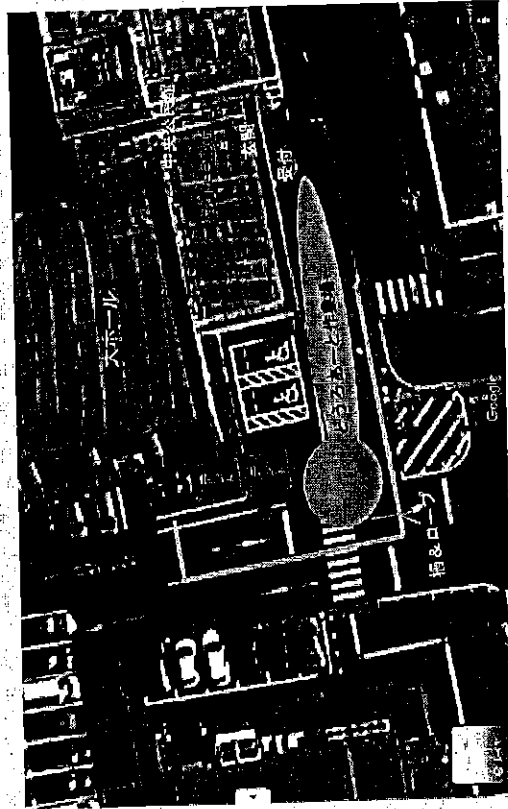
講師： 久本 綾  
（アトリエエラスールこども造形教室講師）

参加費： 500円

定員： 12組（1組の人数は設定せず）

対象： 佐倉市内在住の小学生とその保護者

その他： 市内図書館から関連本借用  
佐倉東高校美術部へ当日ボランティア依頼



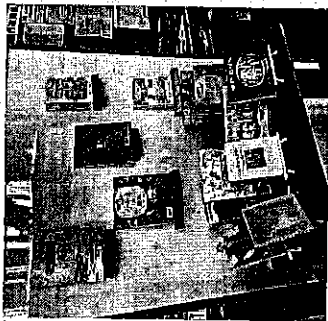
会場図

# 工夫 (窓ガラスお絵描きWS)

## ①会場の雰囲気作り



木や葉のオブジェをつくる  
(佐倉東高校美術部作成)



関連本の展示

## ②絵を描く前に森について話す

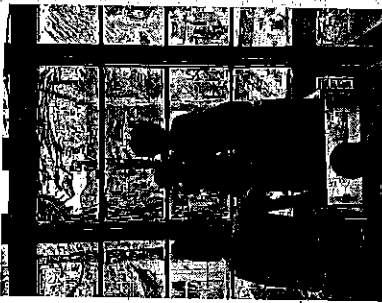


みんななで森について意見を  
出し合う

参加者間の交流  
一体感の醸成

森のイメージ共有

## ③見学席なし&平台設置

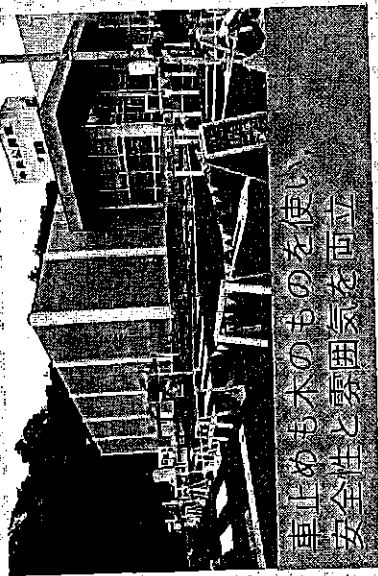


親子のコミュニケーション促進

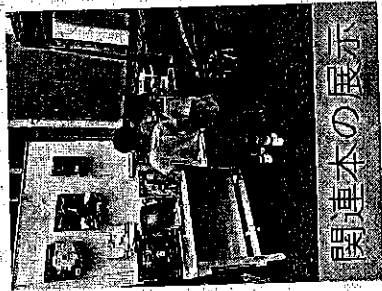
コロナ対策  
屋内だったので  
密を避けるため  
1組3名と制限  
1組が描くスペース  
も事前に決める  
体温測定、手指消毒

# 工夫（どうろあーとWS）

## ①会場の雰囲気作り



海のイメージ共有



## ②休憩所設置



熱中症対策

## ③どこでも自由に描ける



## ④高校生ボランティア



世代間交流

コロナ対策  
手指消毒  
体温測定

## 成果（窓ガラスお絵描きWS）

- 参加人数 11組32名  
 （子供21名、大人11名）  
 小1（4名）小2（5名）小3（2名）  
 小4（3名）小5（2名）小6（5名）

### ○アンケート結果

満足度 大人、子供とも**100%**

（選択肢「楽しかった」「少し楽しかった」両方含む）  
 【理由】

～子供側～

- ・ ガラスに描くのが初めての体験で楽しい
- ・ ガラスに描くのがいつもと違って面白い

～大人側～

- ・ 親子で楽しかった
- ・ 自由に思いのままに、普段描けない場所に作品を残せた

### ○来館者の反応

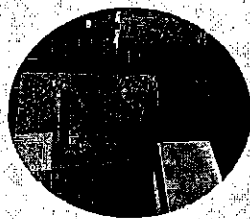
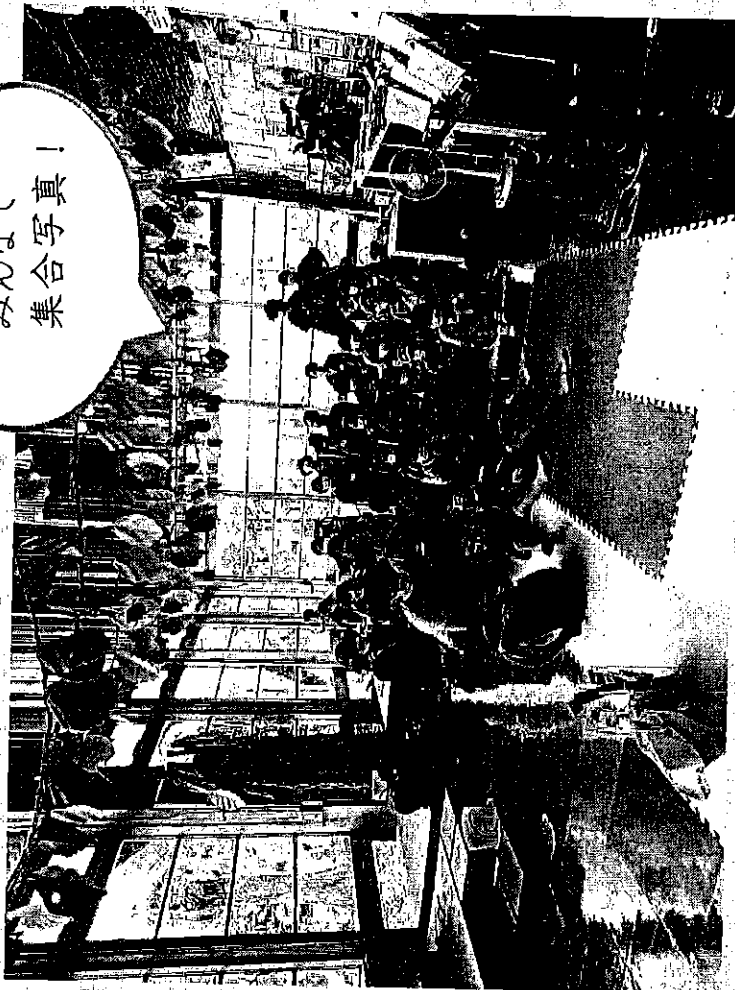
1か月間の展示期間にコメント受付箱設置

「見て、元気になった」

「カラフルで楽しい」

などのコメント

みんな  
集合写真！



YouTube動画再生



<https://www.youtube.com/watch?v=8NGNzuaXLNA>

## 成果（どうろあーとWS）

○参加人数 15組41名 ※定員より増  
(子供26名、大人15名)  
※1組の定員枠設けなかったので  
人数のみ把握

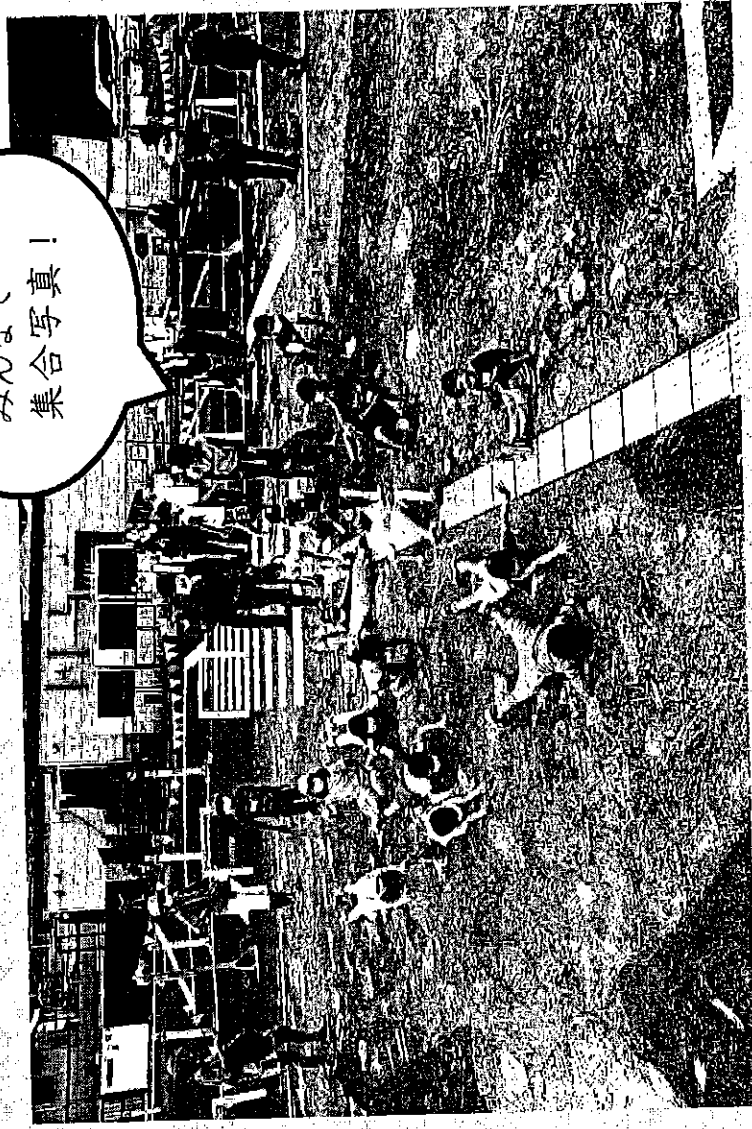
### ○アンケート結果

満足度 大人、子供とも100%  
(選択肢「楽しかった」「少し楽しかった」両方含む)

### 【理由】

- ～子供側～
- ・ なかなかできないことだったから
  - ・ 大きな海を描くのが楽しかった
  - ・ チョークで自由に道路に描くのが楽しい
  - ・ お友達ができたから
  - ・ お友達と協力して描けたから
- ～大人側～
- ・ 子供たちがのびのび自由に描いていた
  - ・ 子供も大人も楽しかったから

みんな  
集合写真！



YouTube動画再生

<https://www.youtube.com/watch?v=7G1AwpiB8PI>



### 課題と今後

#### 窓ガラスお絵描きワークショップ

参加者間の交流が少なかった

応募者と比較し  
定員が少ない

- 新型コロナウイルス感染対策を行  
いながら、交流する仕掛け

- 感染対策と両立させながら広い会場への変更
- WS形式にこだわらず、普段から窓ガラスをお絵  
描きスペースとして開放

各組の絵の  
感想を言い  
合うなど

保育園など  
近隣施設と  
の共催

#### どろろあーと ワークショップ

先生のお話を聞く前に絵を描  
き始めてしまう子供が多かった

作品がすぐに消えてしまいうた  
め、来館者に見てもらえない

- 先生のお話を最初に聞くような流れ  
を作る

- 実施日の変更
- どろろあーとの写真をロビーに展示

お話しする  
場所を事前  
に決める

参加者  
の感想  
を  
書く

ご清聴ありがとうございました

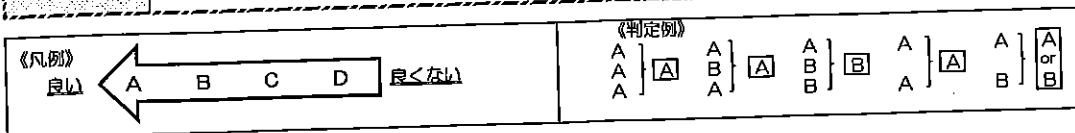




事業名	令和4年度企画展示事業「和田の縄文弥生期出土品展」「和田文化工芸展」				
ジャンル	家庭教育	青少年教育	成人教育〈展示事業〉	団体育成	
日程	令和4年7月～12月	講師	—	参加費	入場無料
対象者	一般	参加者数 (延べ)	1,280名	募集方法	ポスター、チラシ、広報紙、 公民館だより、HP等
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和田地域からの出土品を中心とした展示等を行うことで、歴史資産の価値を再認識し郷土への愛着を深く醸成する。</li> <li>・公民館で活動している団体等の展示を合わせて行い、文化工芸展としてコロナ禍においても社会文化活動に励んでいる人々の表現の場とする。</li> </ul>				
内容	(1) 縄文・弥生期の地区出土品展示 (2) 縄文・弥生期の資料パネル展示 (3) 和田公民館陶芸講座作品展示 (4) 和田地区文化活動団体等作品展示				
工夫	①2つの企画展を併せて実施し期間を長く設定したことで、相乗効果や来館者数の増加を図った。 ②企画展に係る講座を和田地域学第1回講座に設けて実施した。 ③新型コロナウイルス感染症対策に留意し展示を行った。				
成果	①縄文弥生式土器という和田地区及び周辺地域における貴重な歴史資産を活かす事が出来た。 またその事により郷土に対するアイデンティティの醸成を図れた。 ②参加団体等の活力維持に寄与する事が出来た。参加団体はコロナ禍や高齢化の影響もあり会員数が減少傾向にあったが、展示作品を製作する事により活力を維持出来ていると感じられる。				
課題	①施設へのアクセス面や周囲の回遊性等に課題があり、交通案内や来館時対応などホスピタリティ面の強化を図る必要がある。 ②引き続き参加団体の活動維持を図る必要がある。				

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館が行う必要があるか。</li> <li>・市民や利用者のニーズに合っているか。</li> <li>・目的や役割が薄れていないか。</li> <li>・事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。</li> </ul>
優先性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の優先度は高いか。</li> </ul>
公平性	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者に情報は流れているか。</li> <li>・受益者負担はあるか(実費・教材費)</li> </ul>
有効性	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期待通りの成果が得られているか。</li> <li>・さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。</li> <li>・市民の満足度は高いか。</li> </ul>
効率性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性はどうか。</li> <li>・事業運営に学習者が参画しているか。</li> <li>・他事業との統合は考えられるか。</li> </ul>
総合評価	A	A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果はある程度ある。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。
特記		



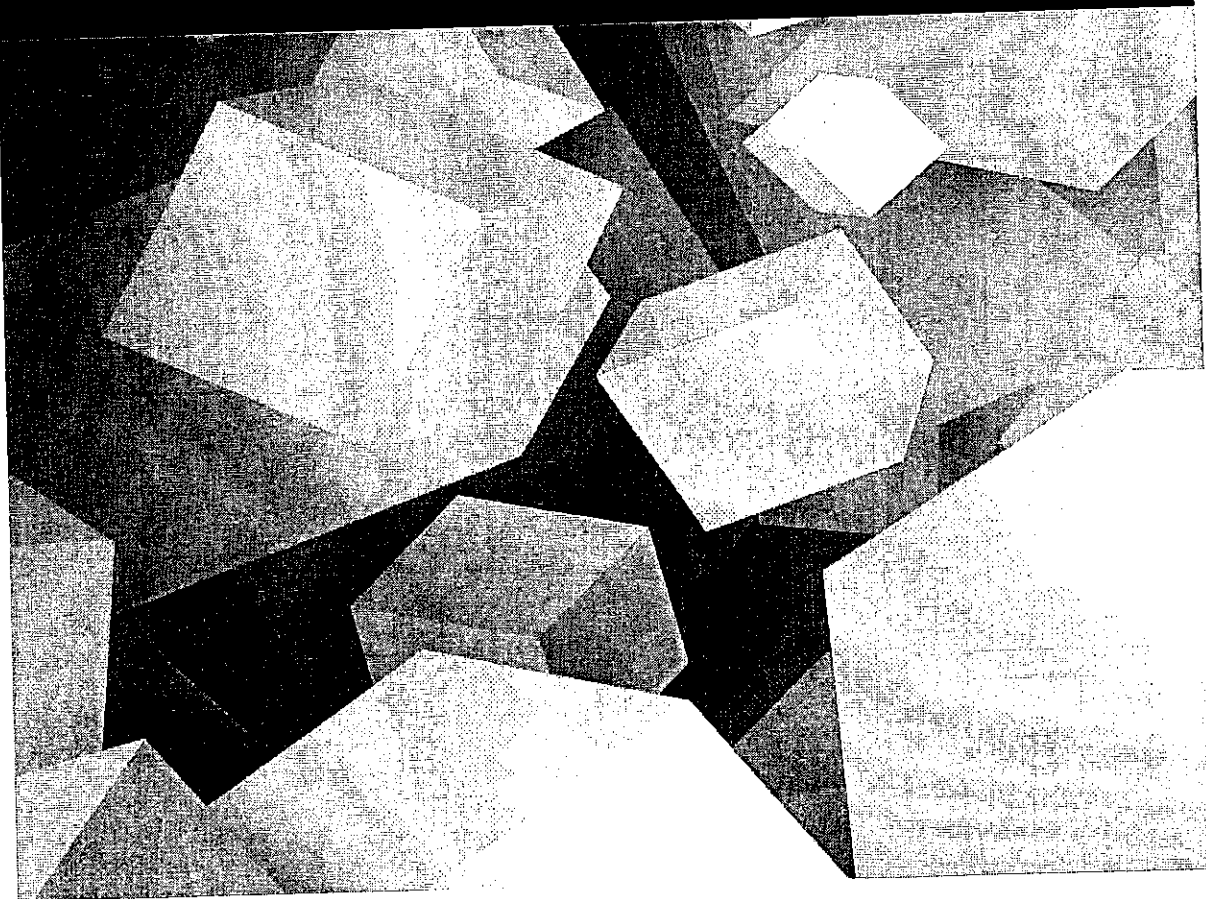
次年度展望	②	①: 事業拡大 ④: 目的達成により終了	②: 現状規模で継続 ⑤: 統合・改善・その他	③: 事業縮小
-------	---	-------------------------	----------------------------	---------



令和4年度 和田公民館

広報・展示事業

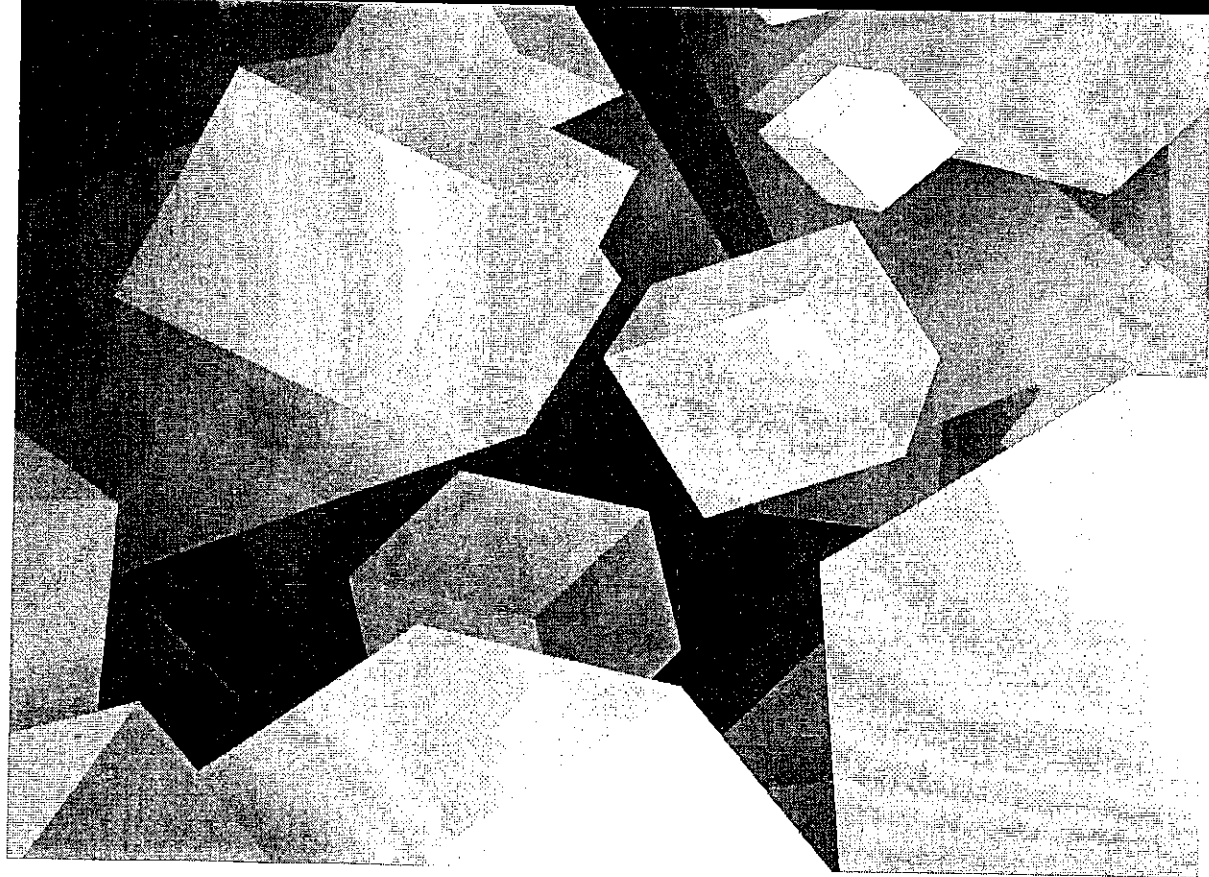
— 企画展示事業について —



# I 令和4年度企画展示事業

II 検証について

III 今後について

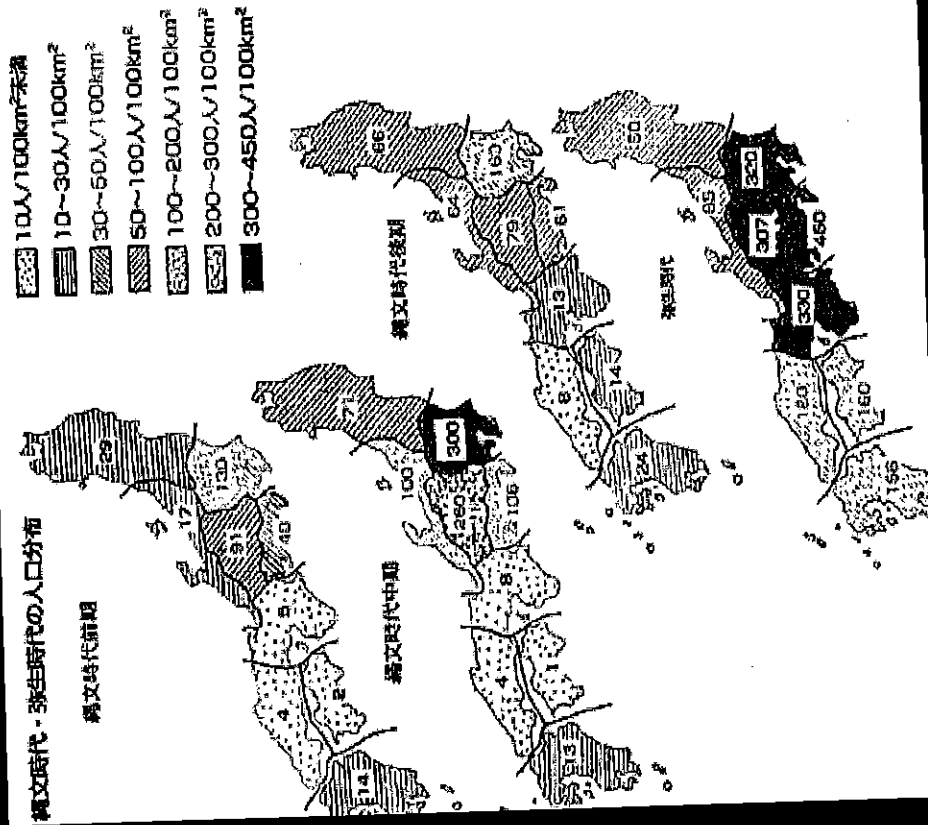


# I 令和4年度企画展示事業

## 背景・経緯

縄文時代から歴史時代に至る地域別・時代別の推定人口数（人）

地域\時代区分	縄文時代			弥生時代		古墳時代		江戸時代	
	早期	前期	中期	後期					
東北	2,100	19,200	46,700	43,800	33,800	288,600	2,473,000		
関東	10,300	43,300	96,600	52,100	100,000	943,300	4,295,700		
北陸	400	4,200	24,600	15,700	21,000	491,800	2,307,600		
中部	3,200	25,300	71,900	22,000	85,100	289,700	1,694,200		
近畿	2,400	5,000	13,200	7,600	55,900	298,700	1,792,200		
中国	300	1,700	2,800	4,400	109,400	1,217,300	4,941,300		
四国	500	1,300	1,200	2,700	59,400	839,400	3,067,900		
九州	600	400	200	2,700	30,500	320,600	1,760,500		
合計	21,900	106,000	262,500	161,000	601,500	5,399,800	25,633,100		



# 「和田の縄文弥生期出土品」展-7~12月実施 和田ふるさと館歴史民俗資料室-

和田地区歴史民俗資料展

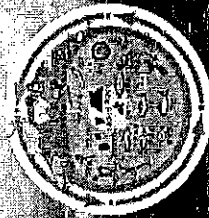
## 和田の縄文弥生期出土品

会期▶令和4年7月9日(土)~12月25日(日)

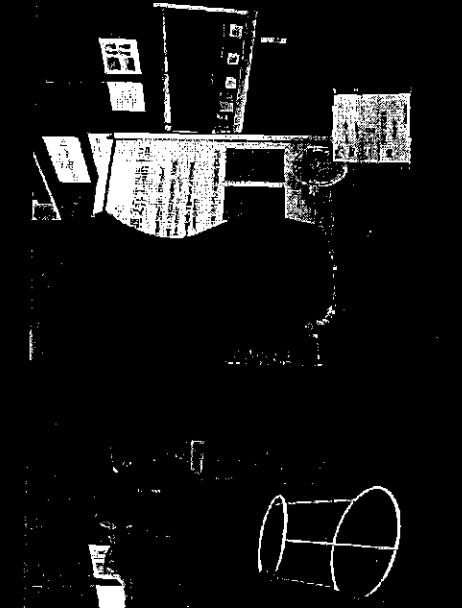
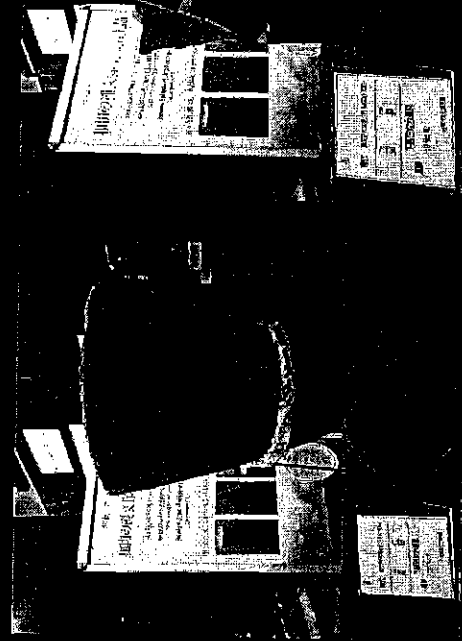
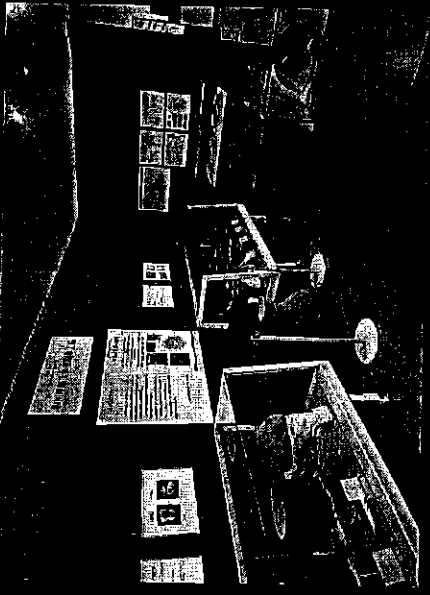
場所▶和田ふるさと館歴史民俗資料室 入場無料  
(和田市八木850番地1 電話043-498-0417)

開館時間▶午前9時~午後5時(第2、第4月曜日休館)  
入場▶午後4時30分まで

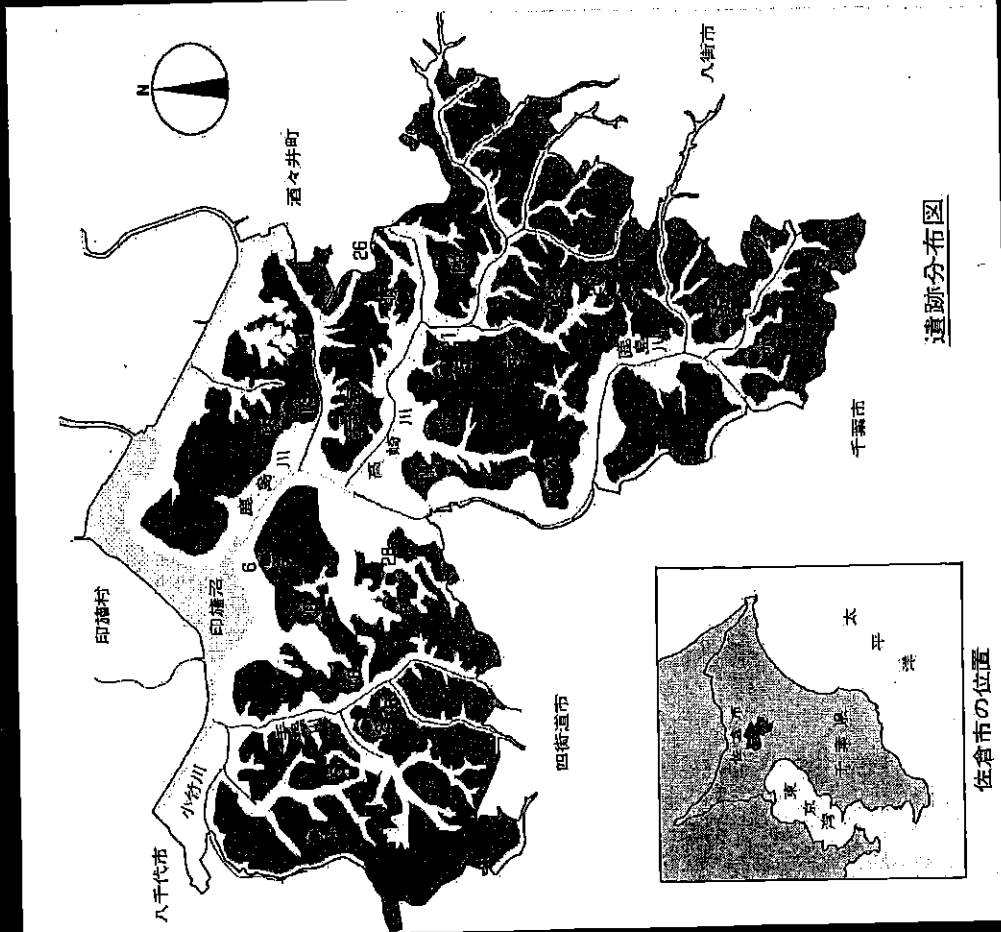
展示内容▶縄文弥生期に係るパネル及び和田地区等出土品



主催：和田市立和田公民館



# 展示パネル 一 佐倉の遺跡一



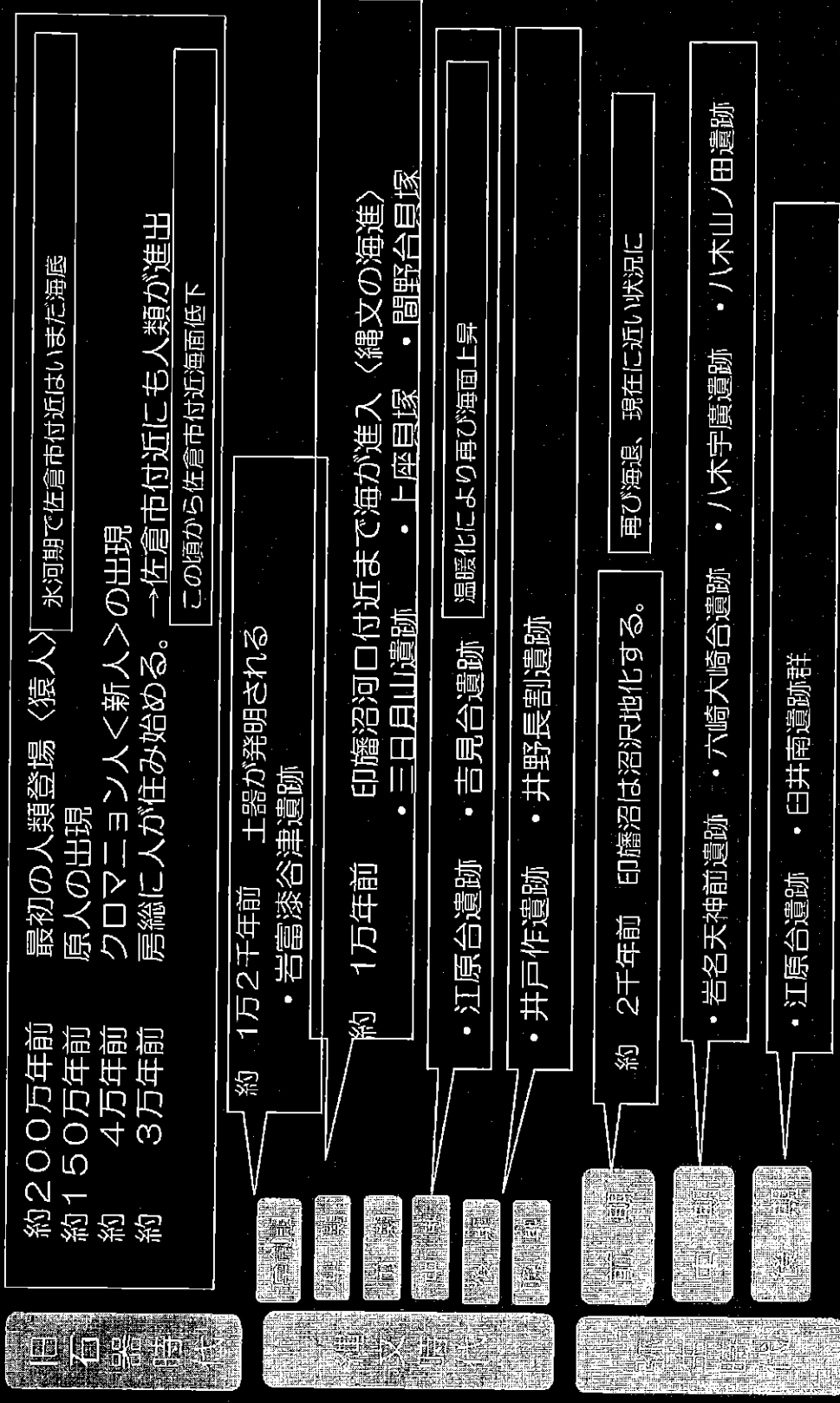
遺跡分布図

佐倉市の位置

番号	遺跡名	遺跡の種類	時代	備考
1	里谷津遺跡	包蔵地	旧石器	尖頭器、ナイズ製石器
2	木戸塚遺跡	包蔵地	旧石器	北海道、東北系の石器
3	宮内井戸作遺跡	集落跡	旧石器・縄文	大宮住居跡
4	赤田・大原塚遺跡群	集落跡	縄文	銅器
5	上海原塚	集落跡、貝塚	縄文	地坑貝塚(階梯式遺跡)
6	江原台遺跡	集落跡	縄文、弥生、古墳、奈良、平安	石瓦製土器、土器、土器製土器、土器、土器製土器、土器、土器製土器、土器、土器製土器
7	美濃台遺跡	貝塚	縄文	地坑貝塚
8	吉原台遺跡	集落跡	縄文	地坑貝塚
9	舟野長副遺跡	集落跡	縄文	地坑貝塚
10	陣野台遺跡	集落跡、貝塚	縄文	地坑貝塚
11	三ノ丸貝塚	貝塚	縄文	地坑貝塚
12	神楽島遺跡	集落跡、貝塚、墓	旧石器・縄文・古墳	地坑貝塚、石瓦
13	若菜文相前遺跡	集落跡、墓	縄文、弥生、古墳	地坑貝塚、石瓦
14	寺崎向原遺跡	集落跡、墓	縄文、弥生、古墳	地坑貝塚、石瓦
15	高崎台古遺跡	集落跡、墓	縄文、弥生、古墳	地坑貝塚、石瓦
16	白舟前遺跡群	集落跡、墓	縄文、弥生、古墳	地坑貝塚、石瓦
17	六所六所色遺跡	集落跡、墓	縄文、弥生、古墳	地坑貝塚、石瓦
18	飯野川・2号墳	古墳	古墳	古墳
19	10号墳、1号墳古墳	古墳	古墳	古墳
20	飯野川古墳群	古墳群	古墳	古墳
21	石川河内地遺跡	集落跡、古墳	縄文、弥生、古墳、古墳	古墳
22	大内町古墳	古墳	古墳	古墳
23	高崎大山遺跡群	集落跡、寺跡群	古墳	古墳
24	六治部遺跡	集落跡	古墳	古墳
25	岩倉谷古墳群	集落跡	古墳	古墳
26	北神尾寺	寺跡群	奈良	奈良
27	木戸子大山遺跡	集落跡	奈良、平安	奈良、平安
28	白井原遺跡	集落跡、集落跡	弥生、平安	弥生、平安
29	八木山/田邊跡	集落跡	弥生、古墳、奈良、平安	弥生、古墳、奈良、平安

(番号は、次頁地図上の番号に合致する)

# 展示パネル - 先史時代の佐倉 -





「和田文化工芸展」-11~12月実施 和田ふるさと館歴史民俗資料室-

令和4年度 和田文化工芸展

令和4年11月19日(土)~12月25日(日)

和田ふるさと館歴史民俗資料室 入場無料

(佐倉市八木850番地1 電話043-498-0417)

午前9時~午後5時(第2、第4月曜日休館)

「和田伝統機械作り作品」「陶芸」「手芸」

「ステンドグラス」「生花」「折り紙作品」等

『地域出土の埴文弥生期展』

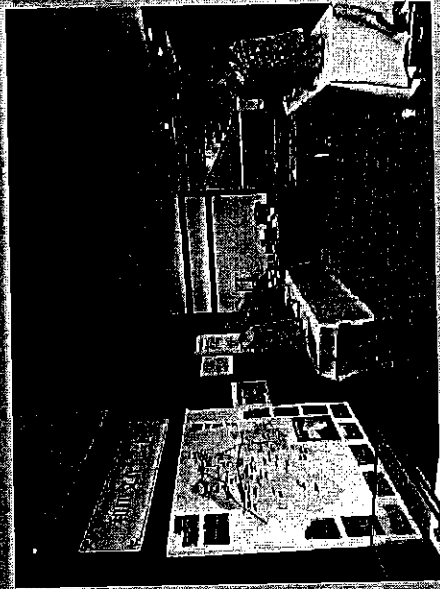
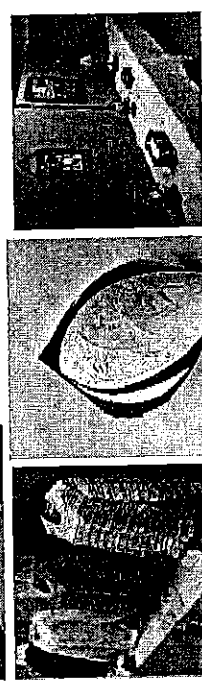
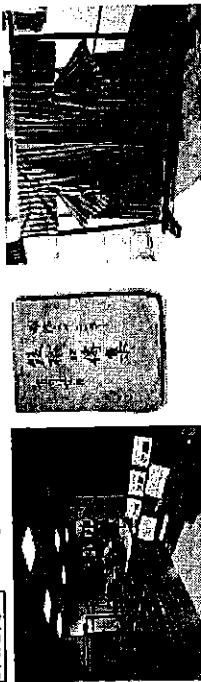
会期

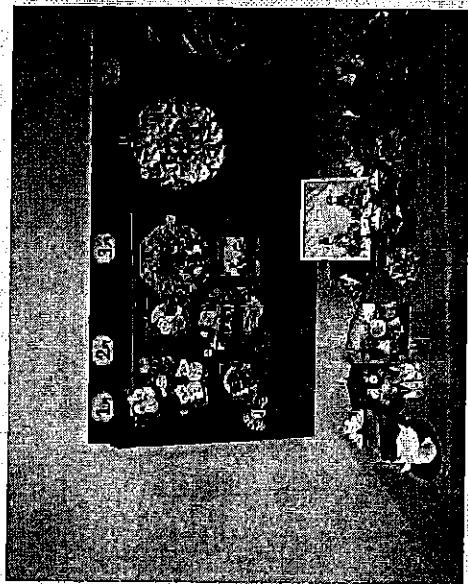
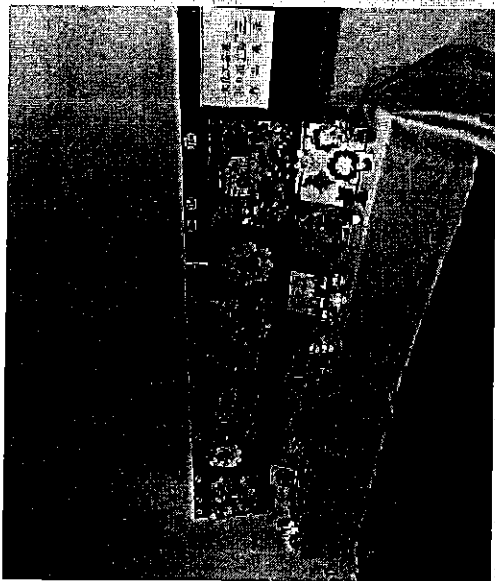
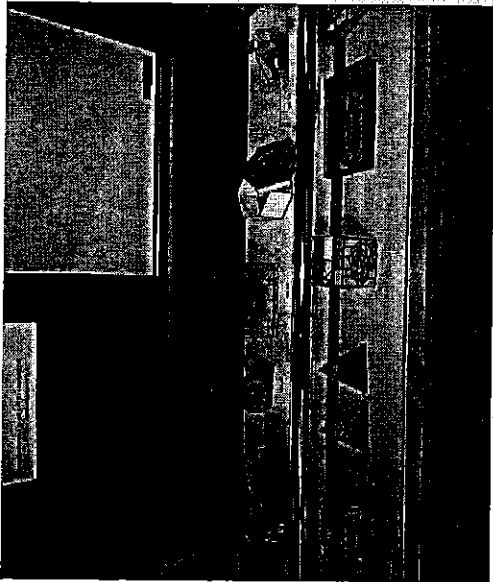
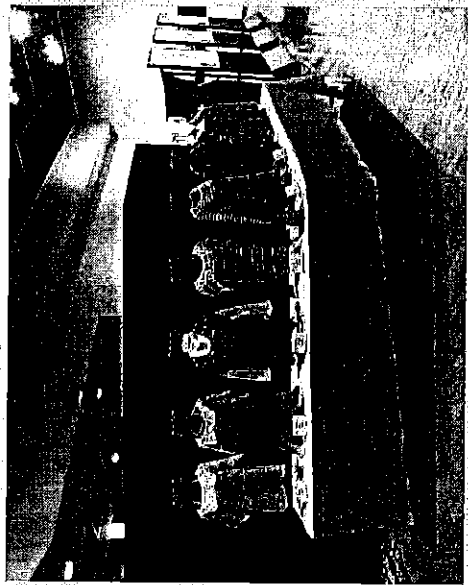
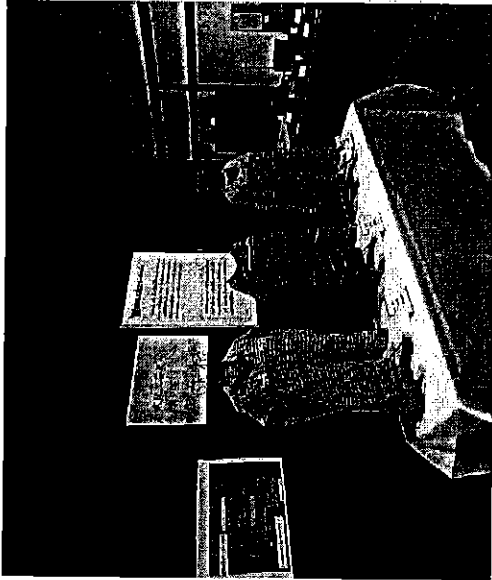
場所

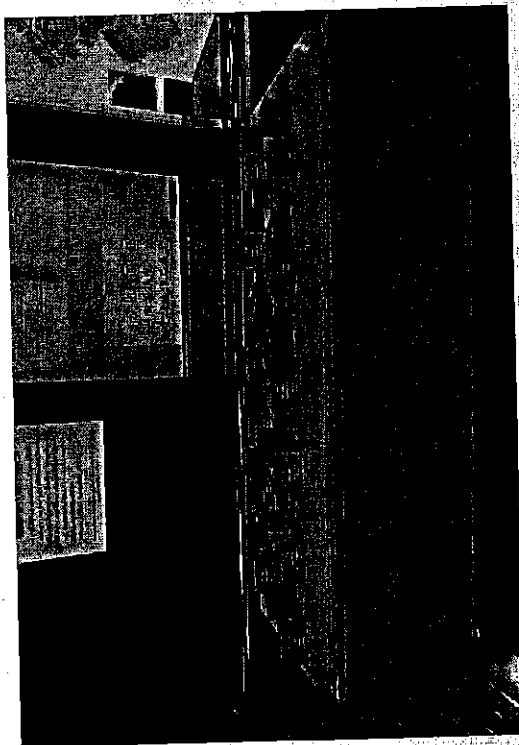
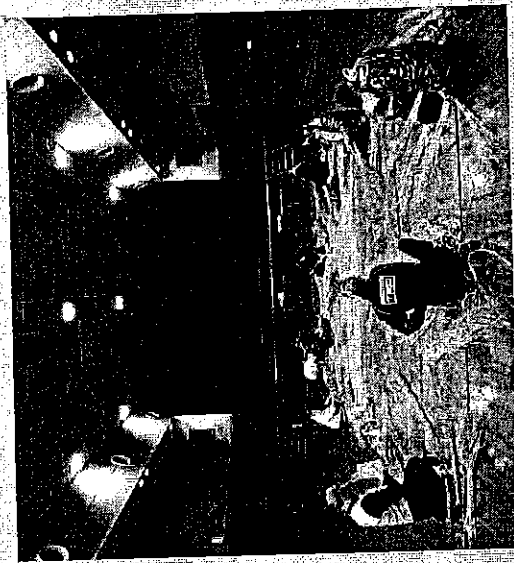
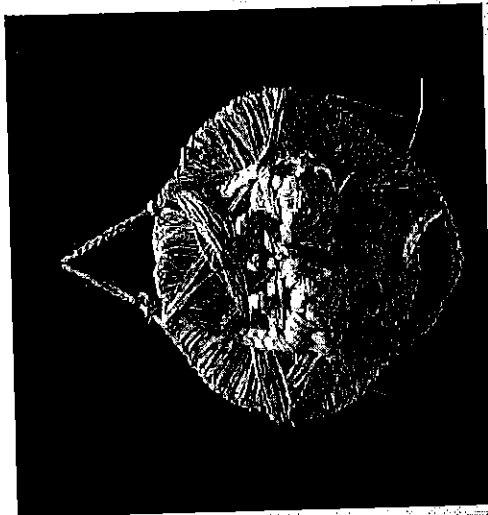
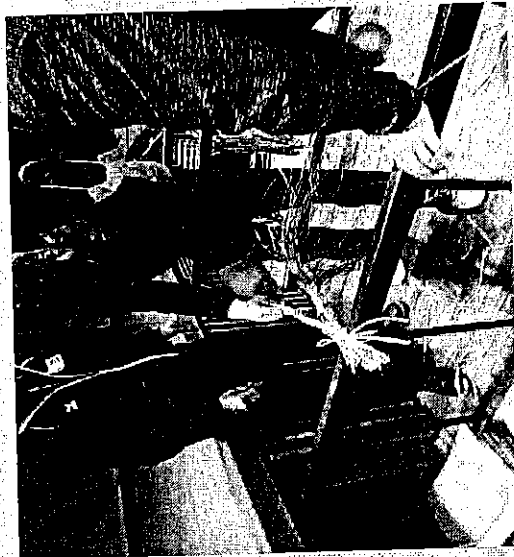
開館時間

展示内容

併設展示





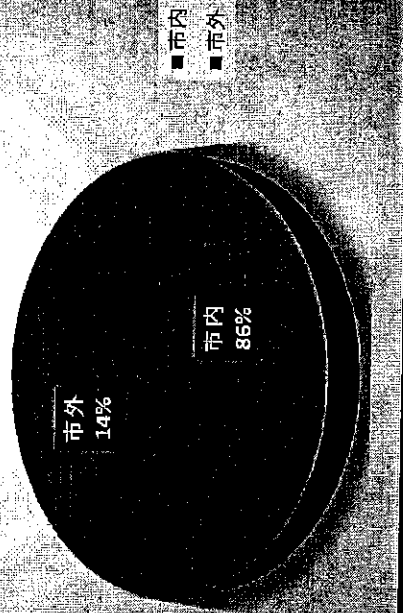


## 展示集計

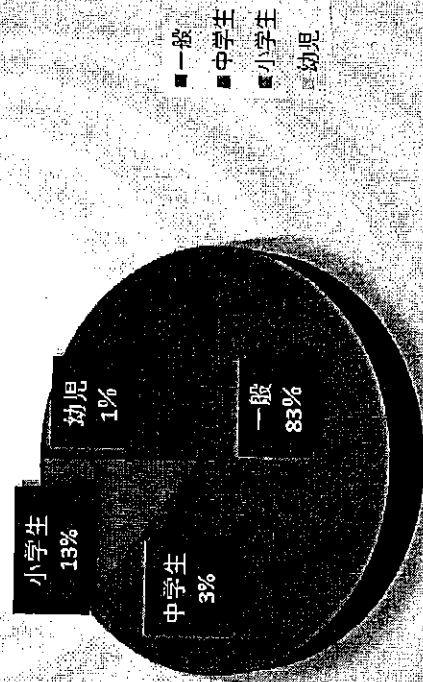
		【単位：人】	
	総数	市内	市外
男	585	486	99
女	695	610	85
合計	1280	1096	184

		市内		市外	
	総数	市内	市外	市内	市外
一般	1073	935	138	40	0
中学生	40	0	40	6	0
小学生	166	160	6	1	0
幼児	1	1	0	0	0
合計	1280	1096	184		

### 来場者数〈市内・市外別〉



### 来場者数〈階層別〉



## Ⅱ 検証について

- 地域の資産を活かすことに意義がある。
- 各種展示団体等の活力維持向上に寄与する面がある。
- 来館者へのホスピタリティ等の課題がある。
  - ・ アクセス面、回遊面等に関係

### Ⅲ 今後について

- 展示事業の継続
- 所蔵品の特性を生かした施設運営

事業名	佐倉っ子塾 弥富剣道教室				
ジャンル	家庭教育 ・ <b>青少年教育</b> ・ 成人教育 ・ 団体育成				
日程	令和4年5月～令和5年2月	講師	立身流理事 榎村典久	参加費	半期ごとに4,000円
対象者	主に小学生	参加者数 (延べ)	173人 (令和4年12月末現在)	募集方法	公民館だより・チラシ配布 佐倉市ホームページ 佐倉市生涯学習チャンネル
趣旨	弥富地区に伝わる千葉県指定無形文化財「武術 立身流」の剣術と、剣道の稽古をとおして、児童の心身の鍛錬と健全育成及び異年齢交流を図るとともに、郷土愛を育む。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 剣道・立身流剣術の稽古（毎週土曜日午前中）</li> <li>・ 剣道大会への参加</li> <li>・ 級位審査の受審</li> <li>・ 立身流抜初演武大会への参加</li> <li>・ 和田剣道教室との合同稽古</li> </ul>				
工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加条件の緩和を行い、参加者を広く募集した</li> <li>・ 動画での広報を行う等、PR方法を工夫した</li> </ul>				
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者も主体的に稽古を行っており、健全育成につながっている</li> <li>・ 長期所属が期待できる低学年の参加者が増えた</li> </ul>				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き参加者数の維持・増加を図る必要がある</li> </ul>				

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民館が行う必要があるか。</li> <li>・ 市民や利用者のニーズに合っているか。</li> <li>・ 目的や役割が薄れていないか。</li> <li>・ 事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。</li> </ul>
優先性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の優先度は高いか。</li> </ul>
公平性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象者に情報は流れているか。</li> <li>・ 受益者負担はあるか(実費・教材費)</li> </ul>
有効性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期待通りの成果が得られているか。</li> <li>・ さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。</li> <li>・ 市民の満足度は高いか。</li> </ul>
効率性	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性はどうか。</li> <li>・ 事業運営に学習者が参画しているか。</li> <li>・ 他事業との統合は考えられるか。</li> </ul>
総合評価	A	<p>A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果はある程度ある。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。</p>
特記		

《凡例》 良好 ← A B C D → 良くない

《判定例》

A	A	A	A	A	A	A
A	A	A	B	A	A	A
A	A	A	B	A	B	B

次年度展望	②	①：事業拡大 ④：目的達成により終了	②：現状規模で継続 ⑤：統合・改善・その他	③：事業縮小
-------	---	-----------------------	--------------------------	--------





青少年教育事業  
「弥富剣道教室」

弥富公民館 高橋武司

弥富剣道教室団旗



# 発表の流れ

## 事業内容

- 事業の概要・実施状況

## 課題と取り組み

- 参加者の減少・地域とのつながり

## 成果

- 取り組みの成果・今後について

# 事業内容



## ★事業の概要・実施状況

# 事業の概要

- 趣旨：剣道や武術「立身流」の稽古を通じた青少年の心身の鍛錬及び健全育成
- 対象：主に小学生
- 日程：令和4年5月7日～令和5年2月25日 38回
- 講師：立身流理事 榎村典久氏 他ボランティア講師3名
- 募集方法：公民館だより 近隣小学校へのチラシの配布  
佐倉市ホームページ  
生涯学習チャンネルへのアップロード
- 参加者数：幼稚園年中～小学生 11人（令和5年1月時点）

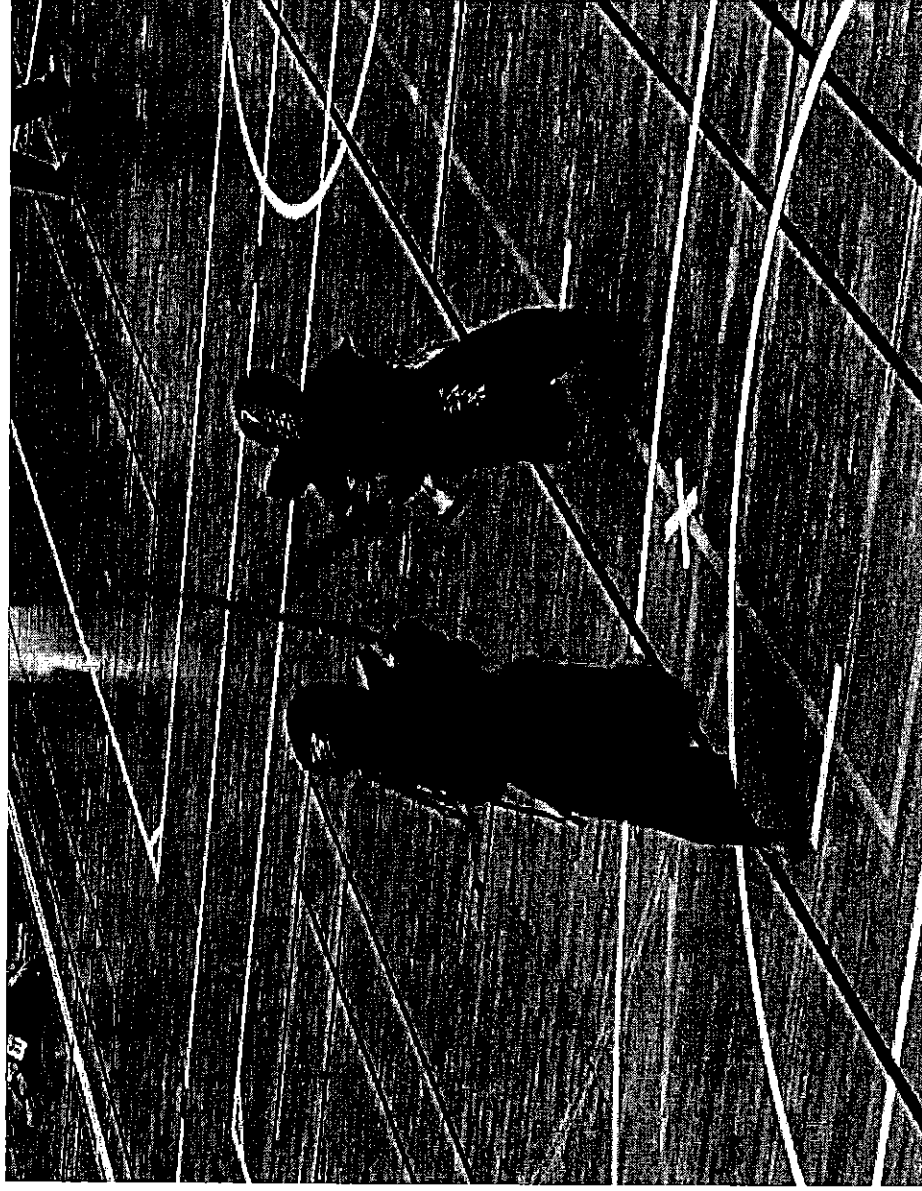
# 実施状況

- 剣道・立身流剣術の稽古（毎週土曜日午前中）
- 剣道大会への参加
- 級位審査の受審
- 立身流抜初演武大会への参加
- 和田剣道教室との合同稽古

# 課題と取り組み

## 課題

- ①参加者の減少
- ②地域とのつながり



## 課題：①参加者の減少

事業継続ができるように、参加者の減少への対策が必要



- PR方法の工夫
- 多くの青少年に周知して、参加者が増えるように

取り組み：参加条件の緩和  
動画を利用した広報

## 取り組み：参加条件の緩和

### ・参加可能年齢の引き下げ

幼稚園、保育園から参加可能とする

→長期所属、本人の技術向上にも期待

### ・市外参加者の受け入れ

→人数が増えることにより、稽古の質の向上にも期待



# 取り組み：動画を利用した広報

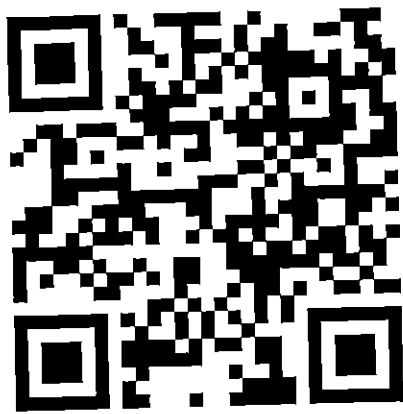
## ・弥富剣道教室の紹介動画を作成

→各種募集にQRコードを掲載し、視聴ができるように



動画は同一ですが、テロップの内容を低学年向けと、保護者・高学年向けで変えています。

低学年向け



保護者・高学年向け

## 課題：②地域とのつながり

- 子どもの交流だけでなく、地域ぐるみ事業の活発化を図る

## 取り組み：活動内容を地域へ情報発信

# 取り組み：活動内容を地域へ情報発信

弥富公民館青少年教育事業 弥富剣道教室

剣道大会で優秀な成績を修めました

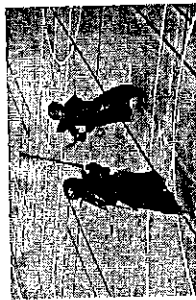
～ 小学生4年生以下の部で連続優勝 ～

佐倉市民体育大会剣道大会 優勝 (6月11日)

佐倉剣道連盟剣道練成大会 優勝 (8月28日)

弥富小学校4年生の鈴木選手(郎威)が、今年度から再開した佐倉市の剣道大会で、公認審判出場ながら2連覇を達成しました。

来年度からは、上級生相手の5・6年生の部での挑戦となりますが、更なる活躍を期待します。



↑相手に打ち込む鈴木選手(右側)



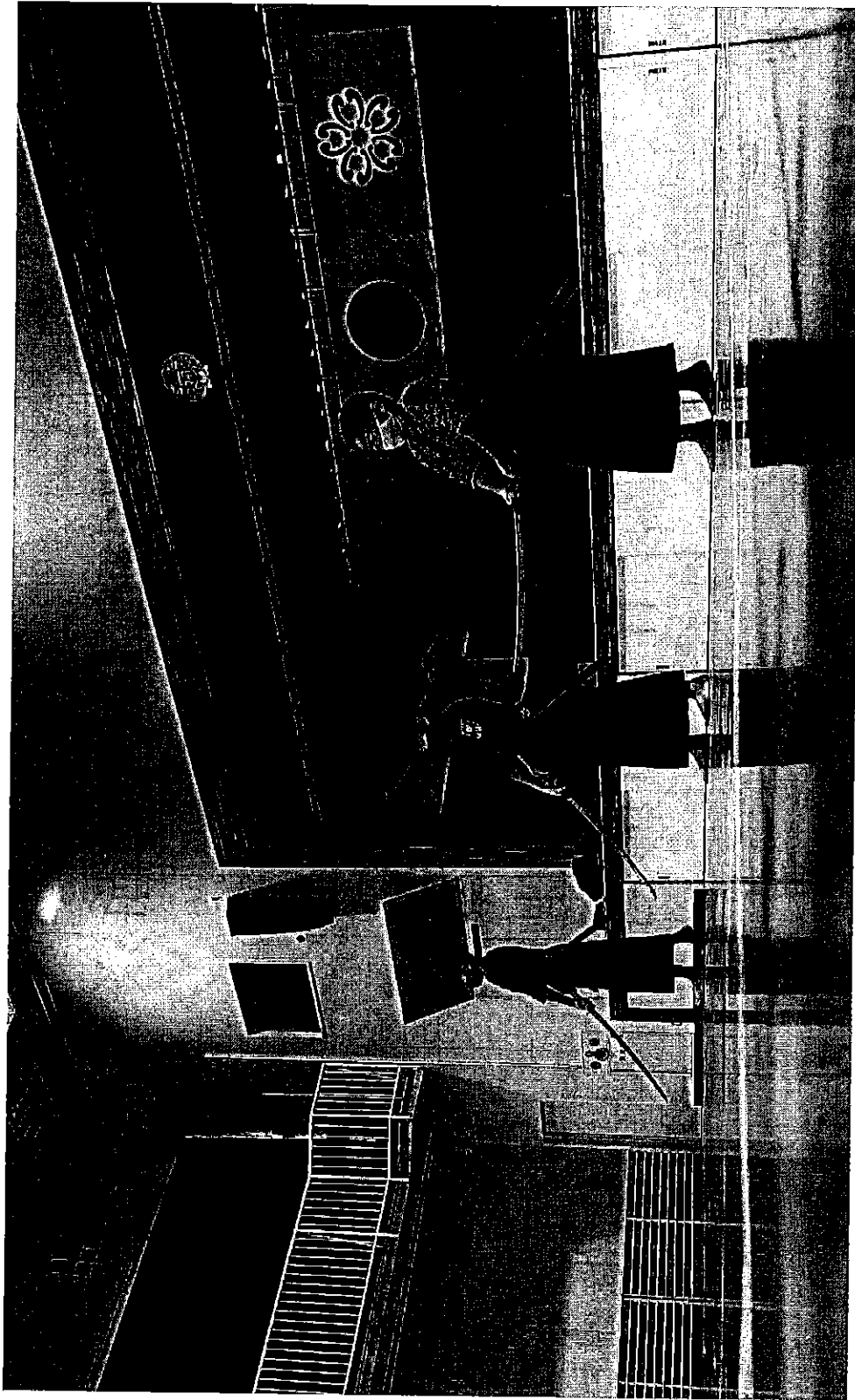
↑優勝の鈴木選手と、大会に出場した佐藤 実 選手(小5・右)、鈴木選手(小4・左)

弥富剣道教室では、小学生剣道を卒業していきます。  
土曜日の稽古日には見学ができて  
すので、くわしくは弥富公民館まで  
お問い合わせください。  
弥富公民館 ☎499-0860

公民館だより  
令和4年11月号  
弥富地区に全戸配布

※現物は白黒印刷です

# 成果



★取り組みの成果・今後について

# 取り組みの成果－参加者の増加

年度別剣道教室参加者の学年

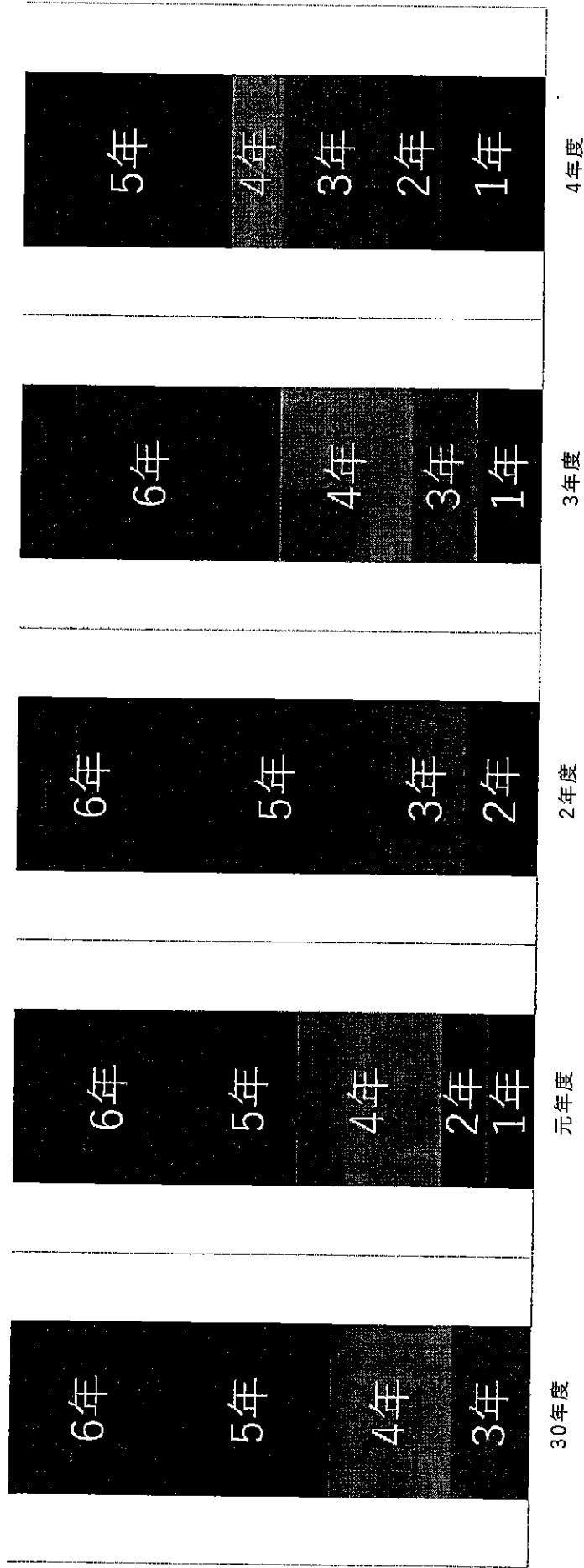
30年度	0	0	2	3	4	4	4	4	13	
元年度	1	1	0	3	2	4	4	4	11	
2年度	0	1	1	0	3	2	2	7		
3年度	1	0	1	2	0	4	4	8		
4年度	2	1	2	1	4	0	10			

※他に幼稚園1名

# 取り組みの成果－参加者の増加

年度別剣道教室参加者の学年（割合）

■1年 ■2年 ■3年 ■4年 ■5年 ■6年



## 今後について

- 「立身流」という特色を生かしたPR
- 特に低学年をターゲットとしたPR
- 地域と連携した事業の研究

発表は以上です。  
ありがとうございます